



# 小澤洋介、三戸素子、P ヤング 友の会ニュース



2003年1月8日発行 No.36

## 新年明けましておめでとうございます。

友の会事務局の2003年上半期の展望インタビュー

Q： 新年明けましておめでとうございます。今年も多彩なコンサートが予定されているそうですね。今月中の26日に洋介さんのリサイタルがもう迫っていますし。

小澤： はい。前回のリサイタル「シューマン&ブラームス」が2001年の12月だったので1年1ヶ月ぶりのリサイタルということになります。

Q： 今回のプログラムはグリーグ、レーガー、西澤さん、メンデルスゾーンと聞いていますが...

小澤： やはりあの「ベートーヴェンチェロソナタ全五曲演奏会」に端を発して、ロマン派のチェロソナタに発展してゆきました。そしてそのドイツ・後期ロマン派の権化ともいえるレーガーに取り組みざるをえなくなったのです。また以前より、この演奏される機会の少ない、でも非常に緻密で内容の濃い作曲家の作品をぜひ弾いてみたかったです。

Q： ではレーガーがプログラムのメインといえますね。

小澤： そうですね。そしてロマン派の世界を壊すことなく多彩さを出すために、グリーグ、メンデルスゾーンを選びました。西澤君の曲は10月に八ヶ岳で初演した委嘱作品でとても良い曲なので、ぜひ少しでも多くの方々に聴いていただきたいと思って、演奏することにしました。

Q： 期待しています。それから続けて2月9日にクライネス・コンツェルトハウスがありますね。素子さんどんなコンサートになるのでしょうか。

三戸： 「隠れた名曲との出会い」というサブ・タイトルを付けたのですが、何しろどの曲も滅多に演奏されない曲なのです。知らない曲を聴いてみたい、という方々が大勢いらっしゃると良いのですが...(笑)

Q： 「クライネス」はいつも面白い構成で、他のコンサートにない知的興味までかき立ててくれるので、毎回楽しみにしている方も多くいらっしゃると思います。ぜひ今回の聴きどころを教えてください。

三戸： プログラムの構成は共感と孤独です。「孤独」というのはショスタコーヴィチの歌曲です。この曲はドラマティック・ソプラノとピアノ三重奏で特異な構成で7曲が演奏されます。何しろ渋い。それで、対極ともいえるライネッケとフィビヒの華やかな曲で挟みました。その2曲が「共感」です。それぞれドイツロマン派とチェコ民俗音楽の中心で一世を風靡した作曲家の力作です。

Q： まさに「クライネス」的ですね。ソプラノの浅野公子・ノイライターさんはどんな方なんでしょうか。

三戸： ザルツブルクで一緒に勉強した方です。ソプラノというと派手なイメージがありますが、彼女は知的でとても緻密に音楽を作ります。この独特なショスタコーヴィチの歌曲を思いついた時、真っ先に彼女が頭に浮かび国際電話しました。引き受けてもらえて、とてもうれしく思っています。

Q： 4月はサント・フローリアン三重奏団がありますね。

小澤： 今度は4月13日に昼、夜の2回公演で、モーツァルトのピアノ三重奏曲全6曲を演奏します。

Q： 去年の弦楽四重奏曲全10曲連続演奏会に続いての企画ですね。

小澤： 以前3年間にわたって横浜のイギリス館で《モーツァルト》の室内楽のシリーズをやりましたが、これもその集大成のひとつです。モーツァルトのピアノ三重奏曲は、意外と評価が低いんですよ。複雑なのに一見音が少ないせいなのかな。あまり真価が定着していない。本当はすごい世界なのに。これを演奏する自分達ももう一度味わいたいと思っています。

Q： これも楽しみです。4月までで既にこの内容のコンサートが続くのでは目が離せません。ところで素子さんのリサイタルも今年ありますか。

三戸： はい、9月12日に「20・21世紀プログラム」を予定しています。それから今年はバッハの無伴奏パルティータにも取り組みます。

Q： 期待しています。それではまず洋介さん、リサイタルがんばってください。

友の会ニュースでは、会員の皆さまからのお便り、原稿、素朴な質問等、随時お待ちしております。

新規会員を随時募集しております。知人、ご友人の方々に友の会をぜひご紹介下さい。

年会費 一口 1,000円

郵便振替口座 00260-1-13926

加入者名

「友の会 小澤洋介・三戸素子・フィリップ・ヤング」

新規入会ご希望の方はその旨お書添えの上直接年会費をお振込下さい。

## 「現代音楽は難しい・・・。」

友の会会員 神谷まさ子

と、言う人がけっこういますが、本当に？

昨年、歳も押し詰まった27日に、小澤さん・三戸さんのお二人も出演したコンサート「西澤健一作品展」を聴きました。友の会では知っている方も多いと思います。そう、あの茶髪？の青年作曲家の最近4年間の自信作5曲の演奏会です。

どの作品にも、綿々たる音楽の潮流のただ中の今現在を生きている人間として、何をしたいのか、何が出来るのか、真摯に向き合う姿勢があり、特にピアノトリオ第三番は、前衛とは？を、深く自らに、そして世に問うた作品のように思えました。

と、確かに重くて濃くて、企みや野心がいっぱい。なのに、嫌なところがなくて気持が良く、しっかりとした構成力を持ち、穏やかな力に満ちた作品群で、とても楽しいも

のでした。

小澤さん・三戸さんは勿論、サクソ、ギターも素晴らしい演奏家達で、彼らが心を込めて丁寧に西澤ワールドを提供してくれた珠玉の一夜でした。

芸術に接するという事は、作り手・送り手の渾身の創造力を、(受け手は)精一杯の想像力で体感することでは？きつい作業ではありますが、難しくはないと思います。

モーツァルトもベートーヴェンもその時代では現代作曲家であり、しかもとびっきりのアヴァンギャルドであったはず。西澤作品のこれからの展開が楽しみです。

行けなかった方には朗報が。1月26日、洋介さんがリサイタルで無伴奏チェロソナタを再演します。

洋介さん絶賛の作品です。演奏も見事です。御聴き逃しなきよう。

## 埼玉第十回記念骨髓バンク・チャリティコンサート ~10年間の感謝を込めて~ 友の会会員 外谷千春

1月15日、バプテスト浦和キリスト教会に於て、埼玉では10回目の、骨髓バンク・チャリティキャンペーン「ピアノ三重奏コンサート」が行われました。会場はボランティア仲間、友人達と再会できる、同窓会のような楽しみもあります。ステージには血液センターの桜井先生の奥様より、お祝いの豪華な花の送り物が届きました。

ベートーヴェンのピアノ三重奏曲第一番(24歳の時の作品)が始まると、若き日の彼に出会えた思い。ハイドンの「ジプシー風」は浮かれて踊り出したくなるリズム。ミ

ニ・シンポジウムの後、サンクト・フローリアン・トリオの皆さんに、子供達から花束贈呈。デザート(アンコール)はシットリと「からたちの花」そして、埼玉骨髓バンク推進連絡会より記念品が手渡されました。最後に、司会の武藤さんが「ありがとう！ドナーのあなた」の詩を美しい声で朗読すると、会場はシーンとなりました。

二次会もそこそこに、次の会場、新潟へと向かわれたトリオの皆さん、どうもありがとうございました。

## 八ヶ岳から

友の会会員 三井千恵子

目が眩むばかりの速さで時が去り、冬の到来を告げる風を感じる季節。そんな中で、少々、大仰に言わせて頂くと、20世紀から21世紀への掛け橋のように、八ヶ岳山麓で開催された泉の会主宰のバツ八無伴奏チェロ組曲コンサート「小澤洋介チェロの世界」三回シリーズの第三回が10月5日大泉村地元谷桜酒造のホールで会場満杯の聴衆を珠玉の時空間へ誘って、その会を了した。類のないコンサート企画に深い想いを込めて理解して下さった演奏家、そして聴き手の皆様、又、会場を提供頂く谷桜酒造(有)社長、ご協賛頂いてい

るアサヒ飲料(株)様にこの紙上を拝借して心から感謝を申し上げます。

このシリーズを通して、コンサートとは本当に生きているもの、そしてものすごいパワーを秘めた魂を持つものであることをあらためて痛感している。

何故なら企画した私の小さな個人的な思惑等とうに遥かに越えた所で、すっきりと立って歩いているのだ。私は素直にその後ろに従う自分が見え始めている。

泉の会は参加した人が会員、私もその中の一人である。感謝



## 今後の主なコンサートとスケジュール

## 1月26日(日) 小澤洋介チェロリサイタル

小澤洋介、ラファエル・ゲラデュオリサイタル

- ・グリーグ：チェロソナタ 短調
- ・レーガー：チェロソナタ 第4番
- ・西澤健一：無伴奏チェロソナタ
- ・メンデルスゾーン：チェロソナタ第2番

東京文化会館 小ホール 2pm 開演 ￥5,000

お問合せ：ハラミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

## 2月9日(日) 東京文化会館室内楽シリーズ

クライネス・コンツェルトハウスOp.14

- ・ライネッケ：三重奏曲 作品274
- ・ショスタコーヴィッチ：ロマンス組曲 作品127
- ・フィビヒ：五重奏曲 作品42

出演：ヴァイオリン：三戸素子 / チェロ：小澤洋介 / ピアノ：ラファエル・ゲラ  
クラリネット：山根公男 / ホルン：藤田乙比古 / ソプラノ：浅野公子

東京文化会館 小ホール 2pm 開演 ￥4,000

お問合せ：ハラミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

クライネス・コンツェルトハウス事務局 FAX.042-945-6329

## 4月12日(土) 第11回 円覚寺ピアノ三重奏の夕べ

~サンクト・フローリアン三重奏団  
骨髓バンクキャンペーンコンサート~

- ・モーツァルト：ピアノ三重奏曲
- ・西澤健一：ピアノ三重奏曲 第3番 (委嘱作品)
- ・ブラームス：ピアノ三重奏曲 第1番 口長調

鎌倉 円覚寺 方丈

問：神奈川骨髓バンクを考える会 TEL.0463-21-0010

## 4月13日(日) サンクト・フローリアン三重奏団

~モーツァルト：ピアノ三重奏曲 全六曲演奏会~

東京文化会館 小ホール

第1回 2pm開演 モーツァルト：ピアノ三重奏曲 第1番 第3番

第2回 6pm開演 モーツァルト：ピアノ三重奏曲 第4番 第6番

入場料 各 ￥5,000 2回連続券 ￥9,000

出演：サンクト・フローリアン三重奏団 三戸素子 / 小澤洋介 / フィリップ・ヤング